

## 生徒による授業評価アンケート集計結果

生徒による授業評価アンケートは、平成19年度と同様に、1 生徒自身に係わる質問、2 各科目の授業に対する評価、3 学習活動についての意見や要望の3点により実施された。「生徒自身に係わる質問」は、平成19年度に5問から8問に設問を増やして実施され、前年度との比較も検証されている。それぞれの質問は以下のとおりである。

### 1 生徒自身に係わる質問

- 設問1 授業の予習・復習をしている
- 設問2 始業前に授業を受ける態勢ができています
- 設問3 授業に集中することができています
- 設問4 板書はしっかりノートにとっている
- 設問5 授業で分からなかった点は質問している
- 設問6 宿題・課題を期限までに提出している
- 設問7 テストで出来なかった問題の復習をしている
- 設問8 学校生活が充実している

### 2 各科目の授業に対する評価

- 設問1 授業は分かりやすい
- 設問2 先生の声は聞きとりやすい
- 設問3 板書は見やすい
- 設問4 授業を進める速さはちょうどよい
- 設問5 質問への対応が丁寧である
- 設問6 小テストや宿題で、より授業が理解できた
- 設問7 先生の授業に対する熱意が感じられる
- 設問8 総合的に評価してこの授業に満足している

### 3 学習活動についての意見や要望

#### 結果概要

生徒による授業評価アンケートのうち、1「生徒自身に係わる質問」及び2「各科目の授業に対する評価」は、各設問に対して4段階（Aあてはまる、B大体あてはまる、Cあまりあてはまらない、Dあてはまらない）で評価している。ここでは、各設問に対する回答状況とその結果について、附属高等学校・中学校全体で分析した。なお、数値については各校のものではなく、全校の平均値とした。

#### 1 生徒自身に係わる質問

##### ①平成20年度結果

設問1「授業の予習・復習をしている」では、あてはまる（以下Aという）、大体あてはまる（以下Bという）の回答を合わせて、高校が32.6%、中学で44.2%、また設問7「テストで出来なかった問題の復習をしている」についても、A、B合計で高校

37.3%，中学 53.3%に留まっている。授業時間以外の学習についても一層積極的に取り組ませるよう、指導の強化を図る必要があると思われる。また、高校生より中学生の状況が良いので、中学時代の習慣を高校生になっても持続できるよう対策を図る必要がある。設問2「始業前に授業を受ける態勢ができています」では、A、B合わせて高校 76.6%，中学 78.6%の生徒があてはまると答えているものの、22～23%の生徒があまりあてはまらない（以下Cという）・あてはまらない（以下Dという）と回答している。設問3「授業に集中することができています」では、高校 78.5%，中学 78.7%，設問4「板書はしっかりノートにとっている」では、高校 92%，中学 94.3%がA、Bと回答しており、多くの生徒は真面目に授業に取り組んでいる様子が見受けられる。設問8「学校生活が充実している」は、高校 81.1%，中学 88%がA、Bと回答しているにもかかわらず、一方では、高校 18.9%，中学 12%がC、Dと回答していることから、生徒の不満やニーズを各校が的確に把握して、改善を図る努力が必要であると感じられる。

## ②平成19年度結果との比較

設問1「授業の予習・復習をしている」では、前年度のA、B合計と比較すると高校で0.4ポイント下がるも、中学では2.9ポイント上昇しており、若干ではあるが生徒の学習意欲が向上したことも窺える。設問3「授業に集中することができています」は、前年度比高校で+1.6ポイント、中学で+2.8ポイント、設問4「板書はしっかりノートにとっている」は高校で+0.4ポイント、中学で+0.9ポイントとほぼ横ばいであった。設問5「授業で分からなかった点は質問している」は、昨年度比高校で+3.7ポイント、中学で-0.6ポイントであり、高校では一定の成果が現れてきたが、今後も生徒の学習意欲を向上させるよう努めるとともに、質問をしやすい環境を整備するなどの必要性が感じられる。設問8「学校生活が充実している」は、高校で+1.2ポイント、中学は+1.8ポイントで、授業満足度の向上や施設・設備の充実等、学習環境の一層の整備を図ることも考えられる。

## 2 授業に対する評価

### ①平成20年度結果

設問8「総合的に評価してこの授業に満足している」では、高校 82%，中学 81%の生徒がA又はBと回答しており、総合的な授業満足度は概ね高いことが分かる。その他の設問でも70～85%の生徒がA又はBと回答しているが、さらにこの数値を高めるよう、継続して努力する必要がある。

### ②平成19年度結果との比較

平成19年度結果と比較すると、A、Bを合計した数値では、若干ではあるが全ての設問で評価が昨年度に引き続き上昇した。これは、教員が前年度の結果を真摯に受け止め、日々の授業に取り組んだ成果であると評価できる。この結果は、生徒の学力に繋がり、さらには進学実績へと結び付くであろう。特に設問1「授業は分かりやすい」が高校で+1.3ポイント、中学で+3.8ポイント、設問6「小テストや宿題で、より授業が理解できた」が高校で+1.8ポイント、中学で+4.1ポイント上昇している

## 3 学習活動についての意見や要望

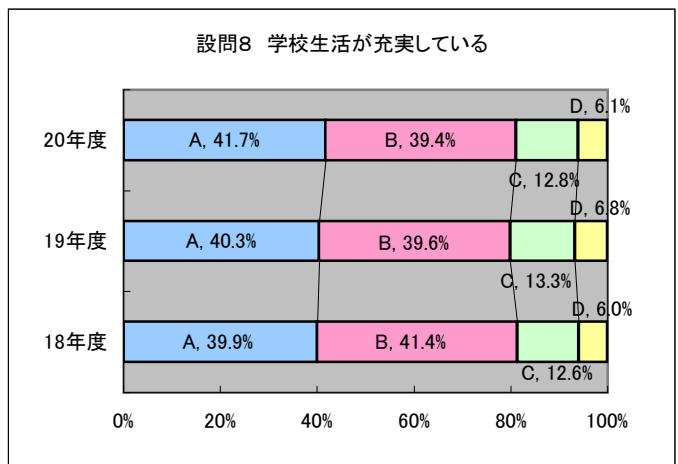
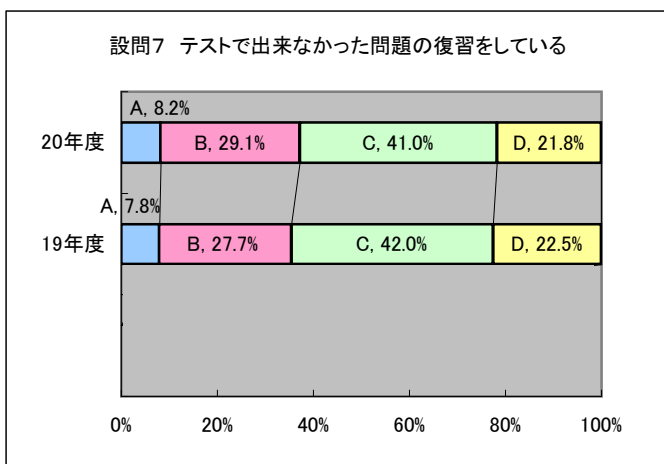
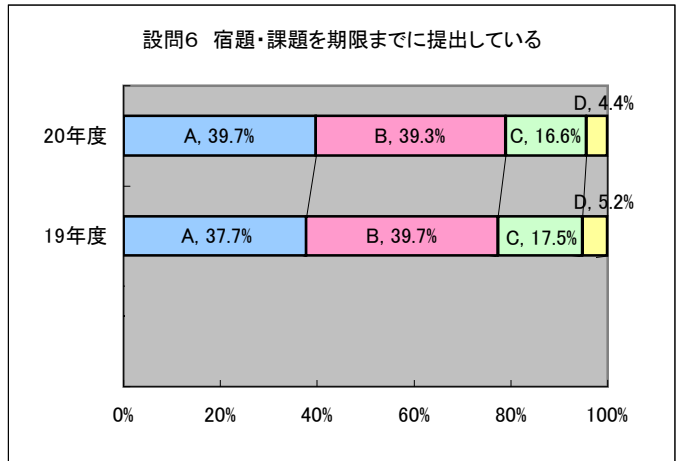
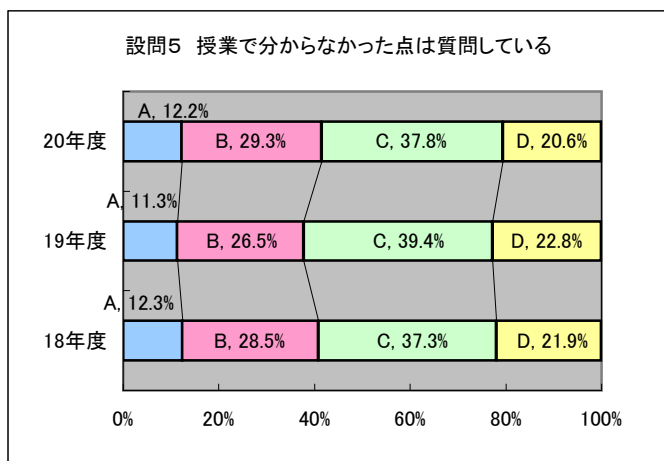
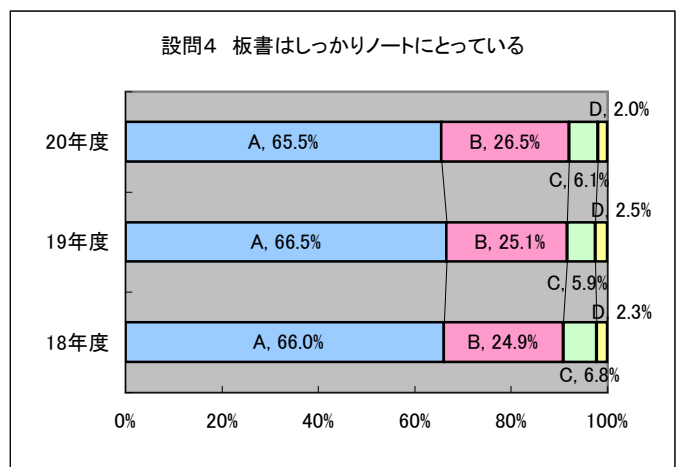
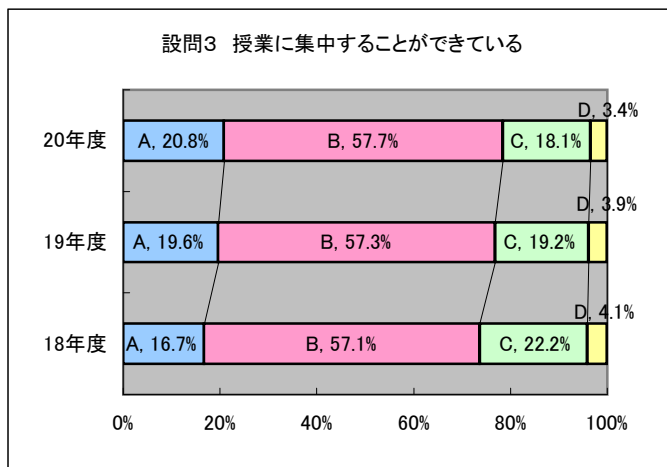
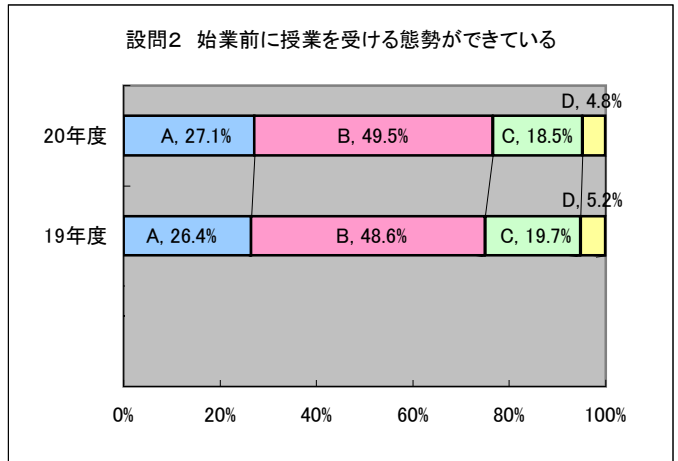
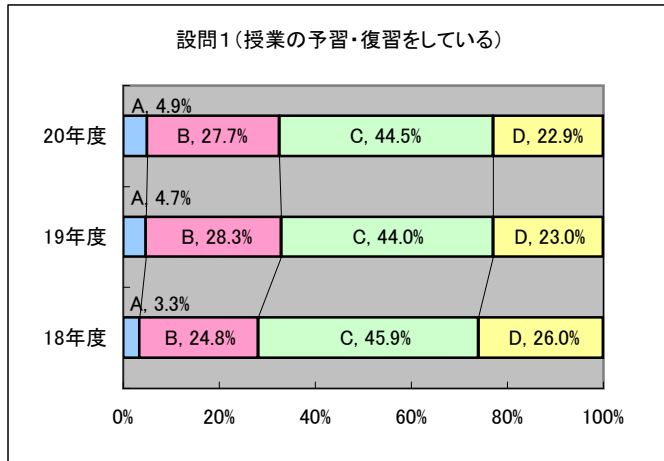
学習活動についての意見や要望は、生徒の自由記述で実施した。記述した生徒は31.1%であった。主な記述は、①分かりやすい授業をしてほしい、②板書の文字を見やすく書いてほしい、③質問に丁寧に答えてほしい、④授業中に騒いでいる生徒を注意してほしい、などの要望が挙げられた。自由記述欄には、学習活動についての意見や要望のみならず、様々なコメントが寄せられており、その中にも生徒の率直かつ的確な意見も数多く見受けられる。自由記述も学校として分析検討し、改善・改革に役立てるべきである。

# 生徒による授業評価アンケート「生徒自身に係わる質問」 設問別回答状況（全付属高等学校）

全 高 校

※設問2, 6, 7は平成19年度に新設した設問

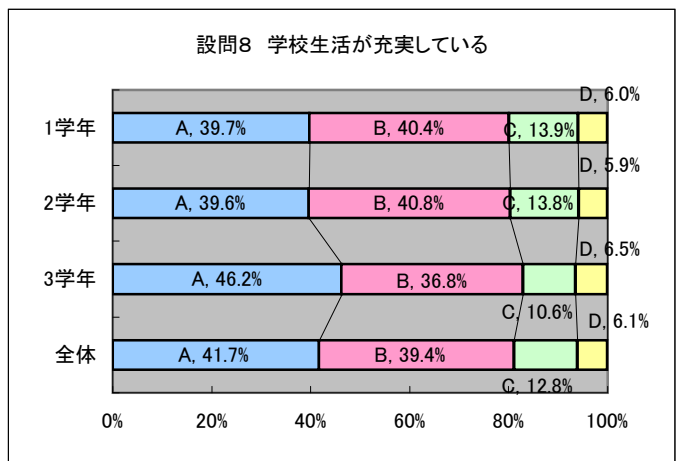
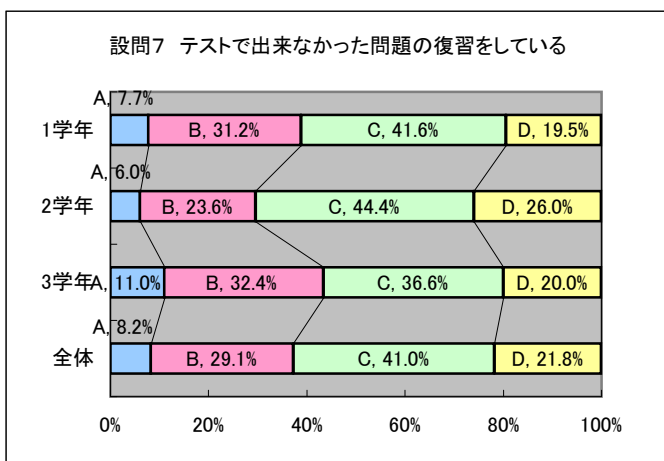
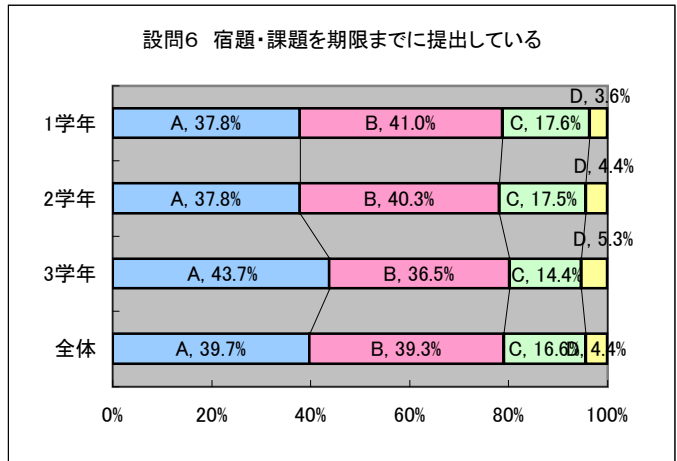
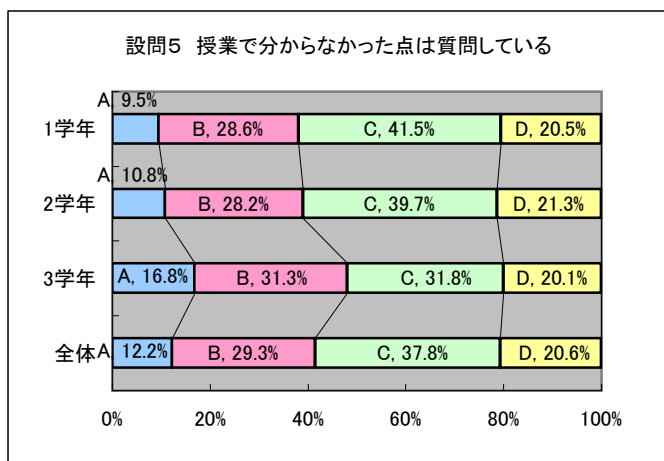
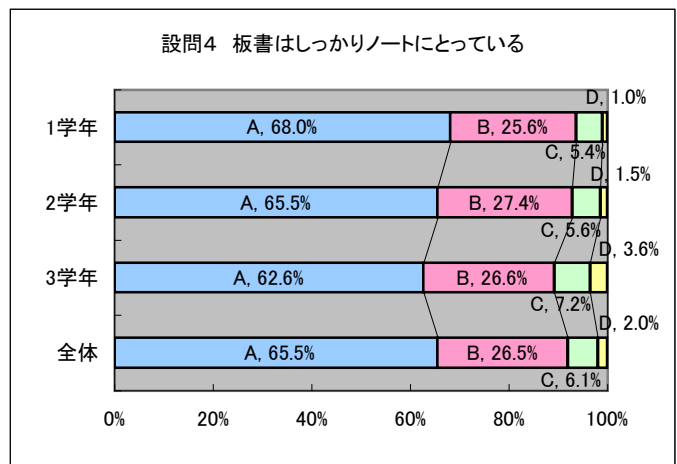
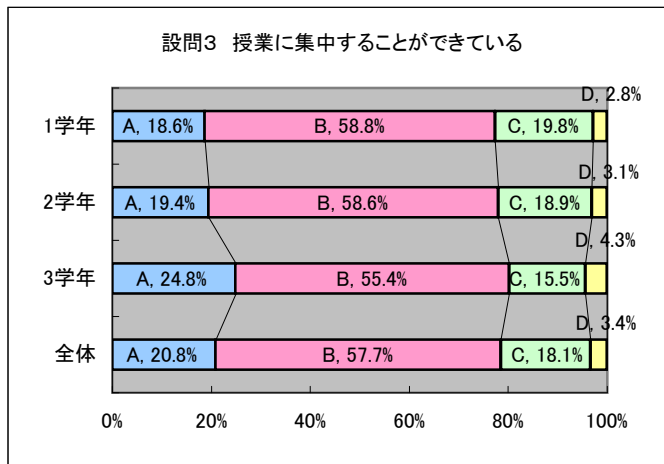
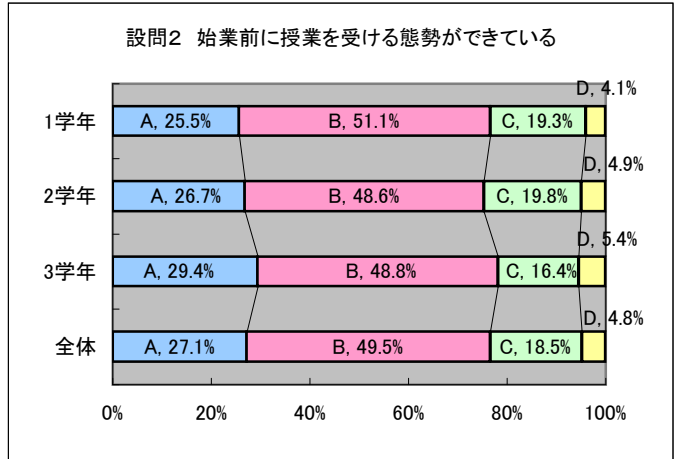
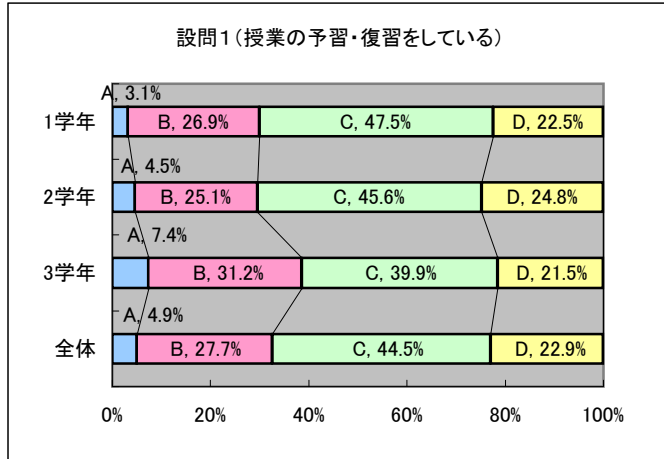
A あてはまる, B 大体あてはまる, C あまりあてはまらない, D あてはまらない



# 生徒による授業評価アンケート「生徒自身に係わる質問」 設問別・学年別回答状況（全付属高等学校/H20年度）

全 高 校

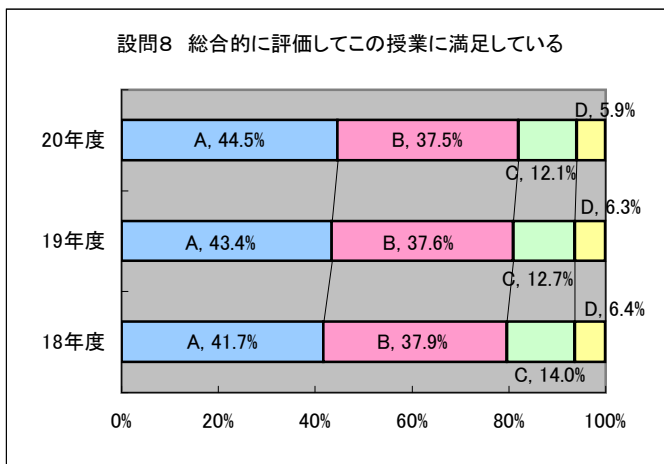
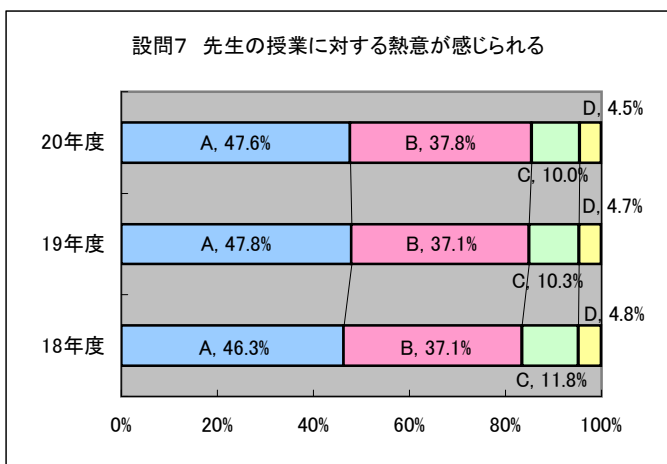
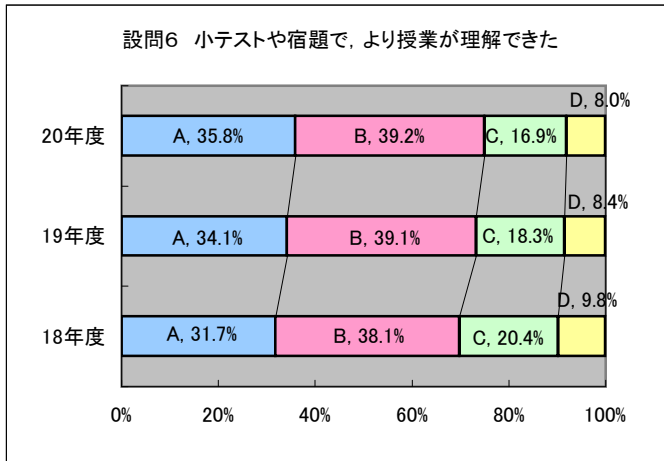
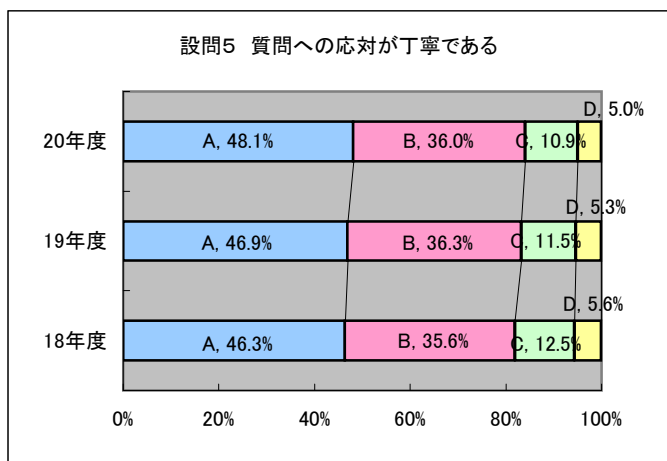
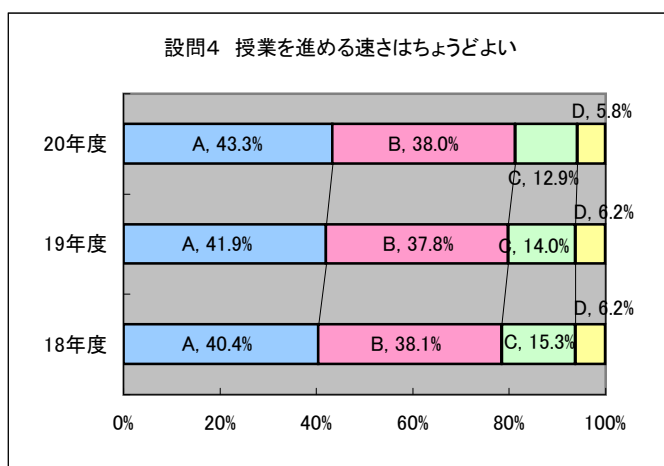
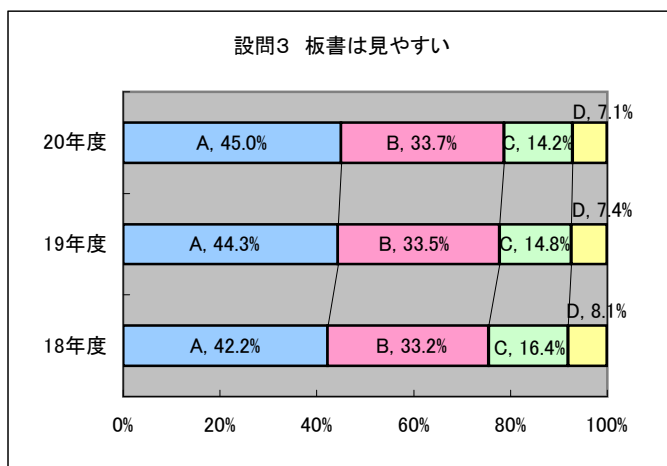
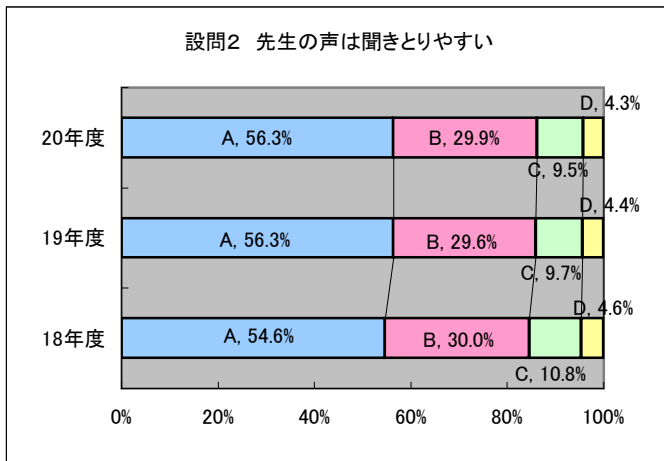
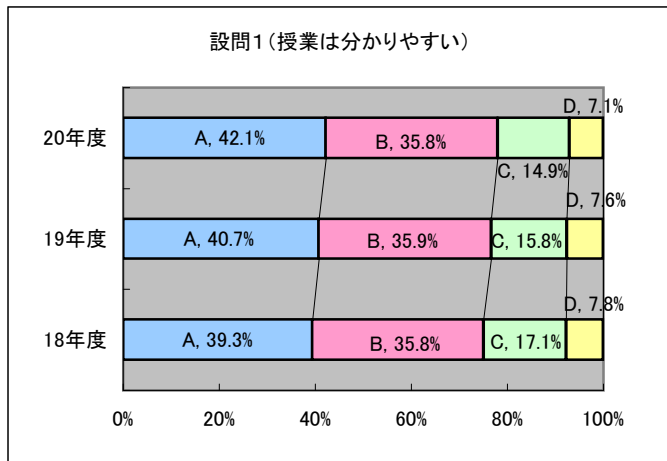
A あてはまる, B 大体あてはまる, C あまりあてはまらない, D あてはまらない



# 生徒による授業評価アンケート「各科目の授業に対する評価」 設問別回答状況（全付属高等学校）

全 高 校

A あてはまる, B 大体あてはまる, C あまりあてはまらない, D あてはまらない

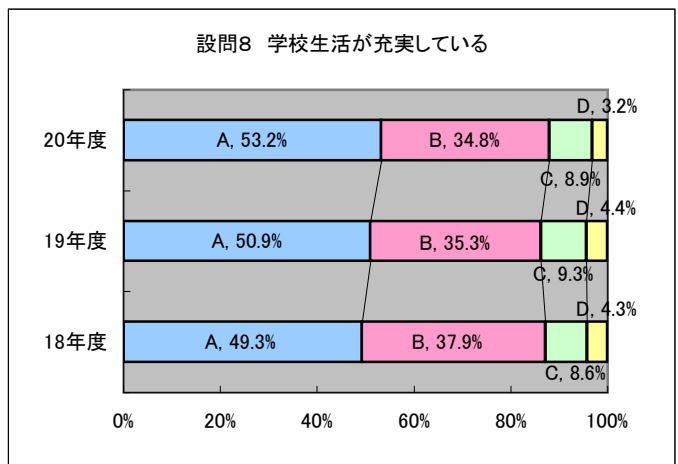
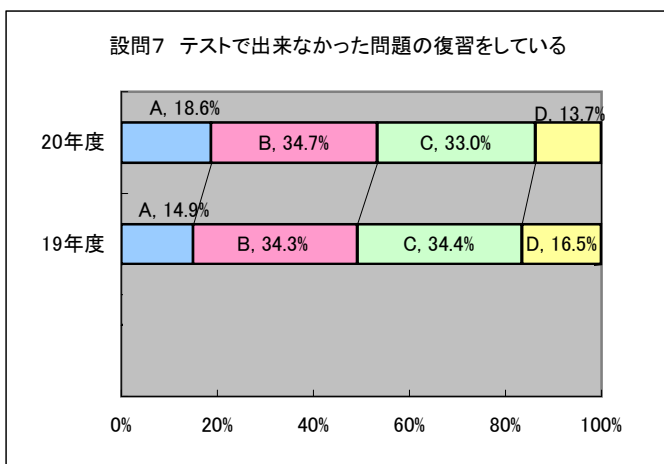
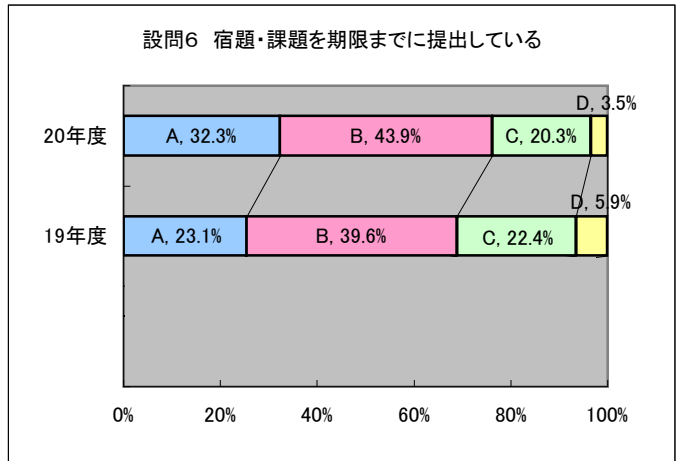
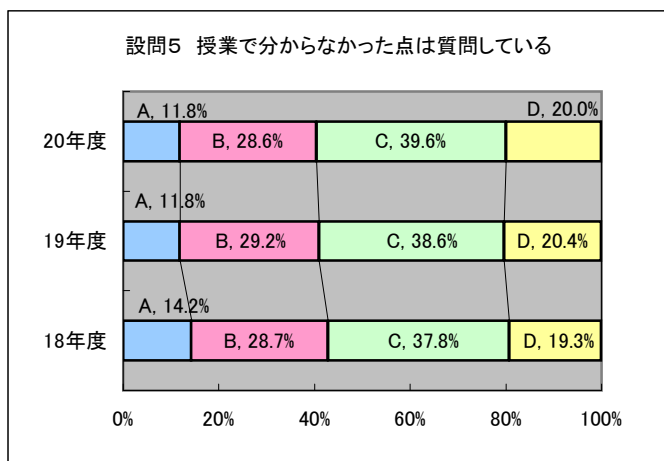
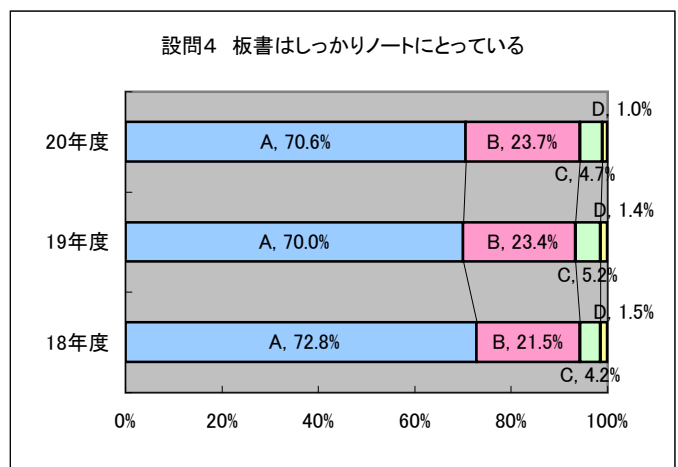
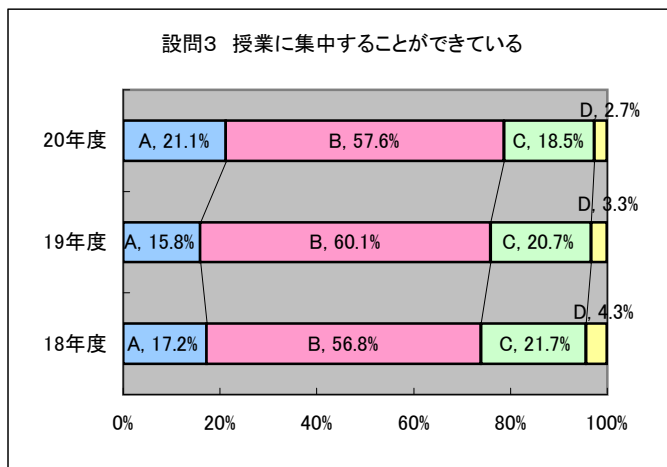
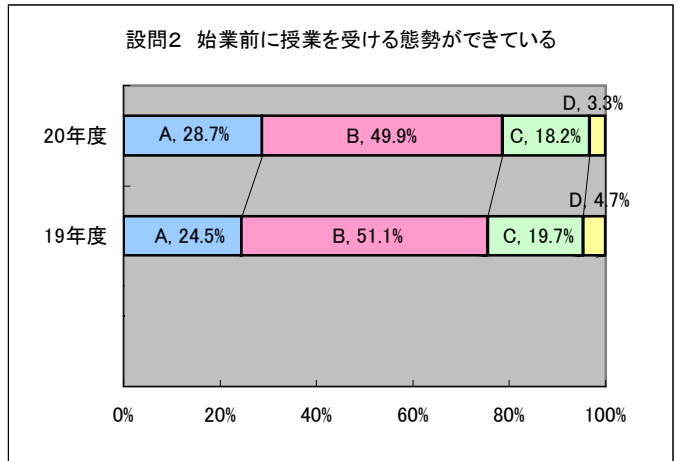
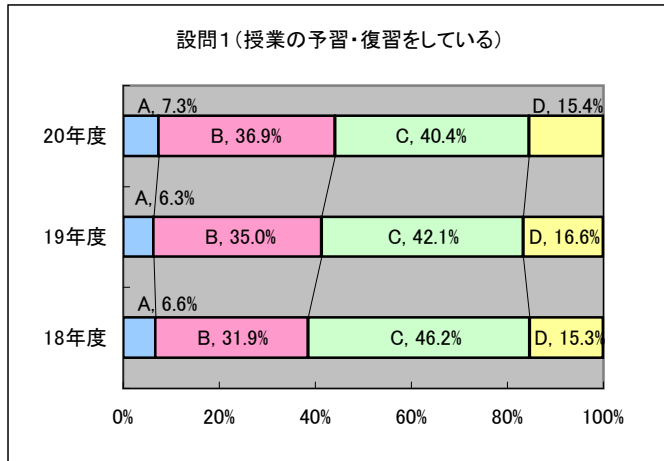


# 生徒による授業評価アンケート「生徒自身に係わる質問」 設問別回答状況（全付属中学校）

全 中 学

※設問2, 6, 7は平成19年度に新設した設問

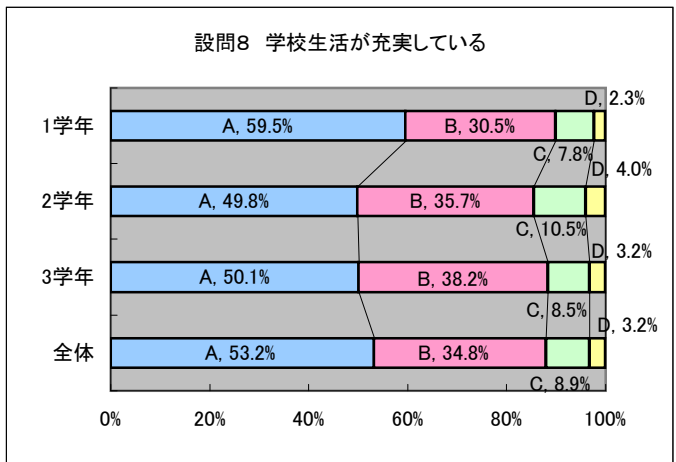
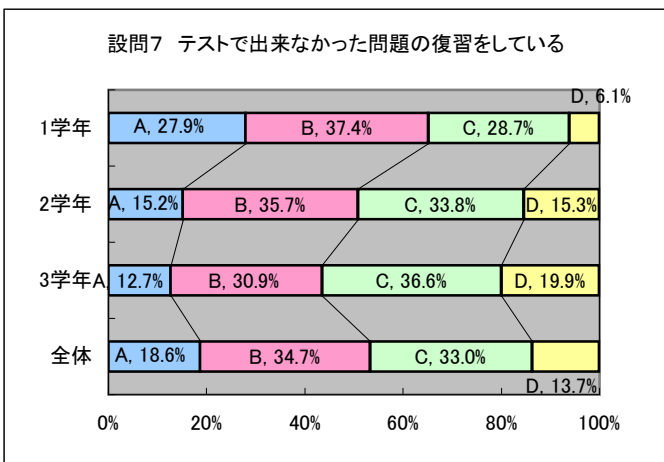
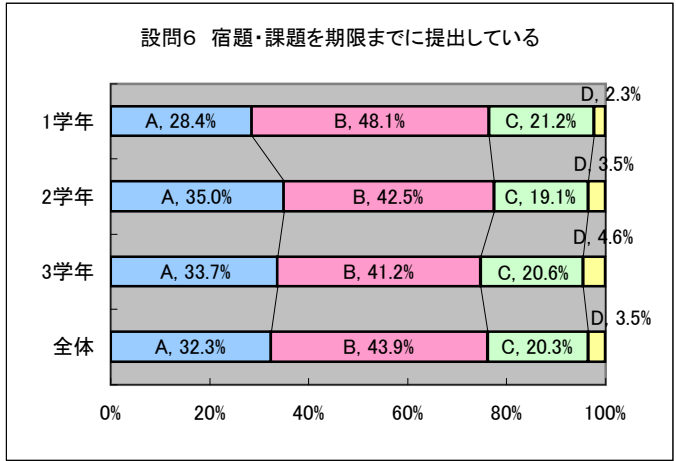
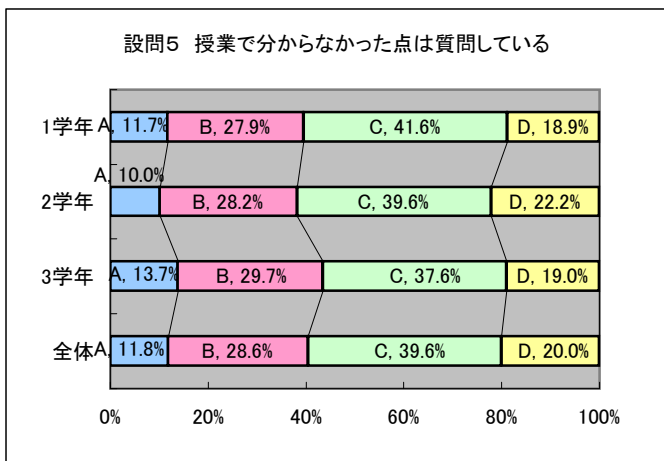
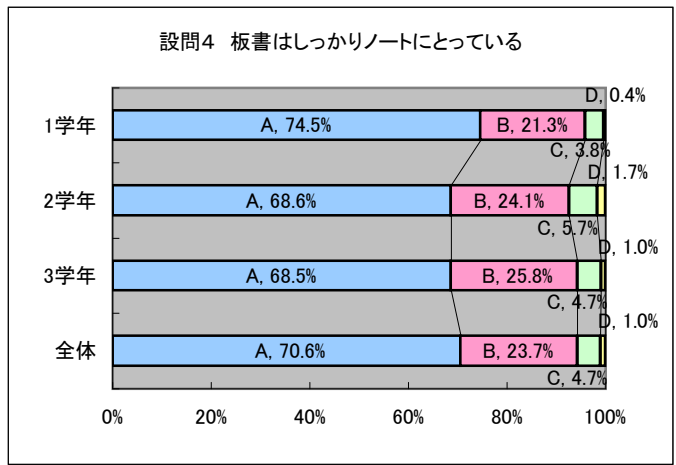
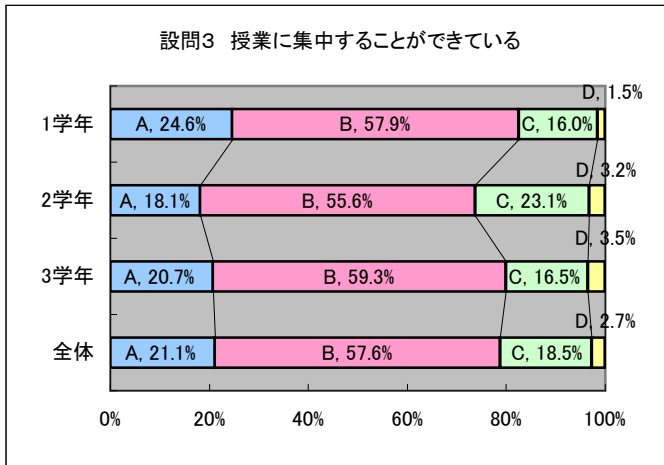
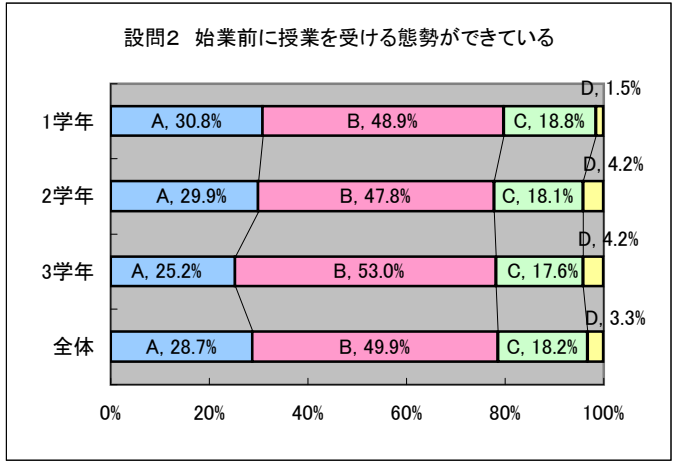
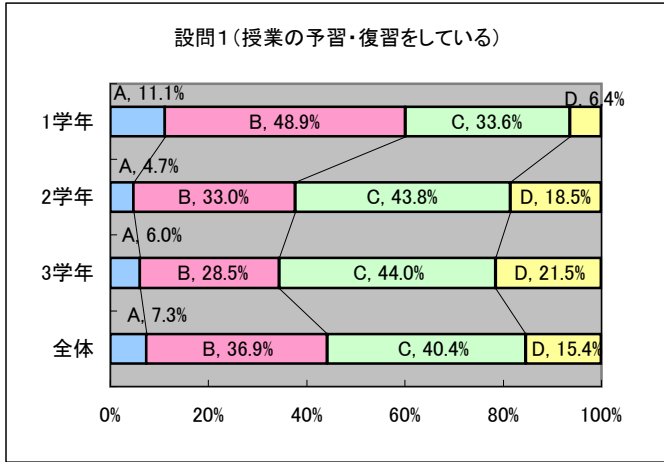
A あてはまる, B 大体あてはまる, C あまりあてはまらない, D あてはまらない



# 生徒による授業評価アンケート「生徒自身に係わる質問」 設問別・学年別回答状況（全付属中学校/H20年度）

全 中 学

A あてはまる, B 大体あてはまる, C あまりあてはまらない, D あてはまらない



# 生徒による授業評価アンケート「各科目の授業に対する評価」 設問別回答状況（全付属中学校）

全 中 学

A あてはまる, B 大体あてはまる, C あまりあてはまらない, D あてはまらない

